



建交労静岡学童分会

2017. 10月 第130号

TEL 054-254-1732

FAX 054-374-5240

衆議院選挙が関わっています。選挙の電話かけをしていると、30代の建設の組合員が「投票に行かない。



世の中変わりほしくない。」と言いました。そこで、「投票に行かないといけない。投票は、大事な意思表示の場。投票に行かないことが、世の中を変える動きの足を引っ張っているんだよ。今、50%そこそこの投票率で、国民の支持を得ていると、やりたい放題、政治を私物化している政党があるけれど、本当に支持されているといえるのか。どの政党を選ぶかはあなたの自由だよ。必ず投票にいつてほしい。」と話しました。彼は「わかった。」といってくれました。声をかけることが大事だとあらためて思いました。



## 県評女性部大会開催

9月30日、静岡市内で県評女性部第28回定期大会が開催されました。学童保育の職場と同様に他の職場も厳しい状況にあります。

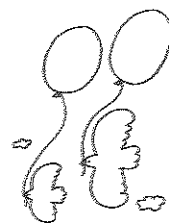
**高教組** 臨時で長年、正規と同じように働いている。若い臨時の人は来年、仕事があるか不安を持ちながら働いている。そのため、上司からいわれたことは何でも聞いてしまう。

**全教静岡** 指導要領が改訂。締め付けが強くなってきた。来年、静岡市は小学校3・4年は英語学習が始まり35時間授業が増える。5.6年生は70時間。そのため、来年度定年退職の教師が1年早く退職する人が増えている。

**金融** 法律が変わったことなど大量の情報が流されてくる。忙しくて読む時間がない。自宅で学習しろと会社はいう。休日セミナーに出席すると人事評価にポイントがつく。

**年金者組合** 「自立できる年金」を目標にしている。女性の65%が10万円以下の年金。今、全国4809人が裁判をたたかっている。その内、静岡は58人。

**医労連** 人手不足を過重労働で補おうとしている。ある職場では看護師が60人入って、60人辞めている。



◇建交労全国学童保育部会「ニュース学童保育」について

今回、9月・10月号をまとめて両面印刷をしています。

◇全労連女性部 総選挙アピールを裏面に乗せました。共感の思いが詰まっています。読んでください。